



特集

当社の主要事業の一つであるエンジニアリング事業を担っている産機事業部。社会に役立つ分野での「モノづくり」を自社工場で一貫して行っています。熱い思いを持って働く産機事業部の皆さんと事業の概要を紹介します。

※全ての掲載写真は、撮影のために特別に保護具を外しています。



ゼロからモノづくりに挑む! 搬送・産業機械の“プロフェッショナル”

産機事業部は、設備を使う側での目線で、技術力・開発力を養い、それらをベースに設計・製作した各種機械製品・サービスを提供しています。当事業所ならではの視点と発想を持った製品を生み出す、その方法に迫ります!

産機事業部は

どんな部署?

産機事業部は、製鉄所や化学プラントなどで使用される産業用機械をはじめ、搬送設備の設計・製作・据付・メンテナンスまでを一貫して担っている部門です。大企業に比べると事業部のメンバーは約50人と少ないですが、だからこそワンストップで手掛けることが可能。これは、濱田重工ブランド力の一つにつながっていると自負しています。

歴史をさかのぼること昭和40年11月。則松工場(現在のオートライフセンター)が設置され、製鉄所構内で作業の際に使う家用車両の自家整備をするようになりました。さらに昭和43年8月には、則松工場機械製作グループの新門司進出によって門司工場が誕生します。

そして、新門司の臨海工業地帯に工場用地を購入して建設された製缶工場に、則松工場機械製作グループのメンバーが加わり、則松工場門司作業所と命名。当時、これからの産業機械の大型化に対応するには、製品の海上輸送に便利な自社の出荷岸壁を持つ臨海鉄構工場でなければならぬと考えられていたことが、この土地に開設した理由だと言われています。この作業所が独立し、現在の産機事業部となりました。

どんな分野の

技術・開発が自慢?

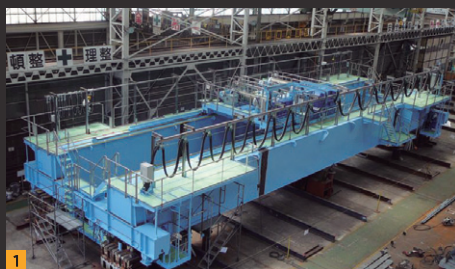
ひと言で表すと「搬送」です。最近ではシップロダをはじめ、荷役機械、パイプコンベアといった、単なるコンベアではない特殊なものを製作することが多くなりました。創業以来、長年にわたって培ってきた経験とノウハウをもとに、高度化・多様化するニーズに対応すべく、技術とシステムの開発に日々勤しんでいます。

こういった動きが、お客さまの大切な製品を搬送する際に役立つているのです。製作しているもののうち、80%は製鉄所向け。これまで手掛けた中での最大輸送量は3,900 t/hです。「濱田重工にお願いしたい」と思っていただけのような、付加価値をつけることを常に心掛けています。

荷役機械というのは複雑な制御も含むので、難しい点多々ありますが、私たちの仕事がお客さまの仕事に役立っているのだと考えると、これからも頑張ろうという気になります。

主な取引先

鉄鋼業界や公共事業など



1



3



5



2



4



6

1 天井クレーン 2 日鉄鉱業(株)鳥形山鉱業所殿向けシブローダ 3 旋回式ジブクレーン
4 ブロック搬送台車 5 日鉄鉱業(株)鳥形山鉱業所殿向け小割スタック 6 JR小倉駅前A橋工事エリアの太陽光発電ルーフ

スケールが大きい 製作実績

産機事業部では、設備・機器開発力をベースに、設計・製作・据付メンテナンスまでのトータルエンジニアリングサービスを展開。特に大型クレーンや各種コンベアなどの搬送機器メーカーとしてのブランドを確立し、お客さまのニーズに応えています。

産機事業部の

これから

今後、産機事業部はますますグローバル化されることが見込まれ、付加価値の高い部品まで海外調達されていきます。海外での技術・技能の指導ができる、熟練されたエンジニアが必要不可欠です。その上で、英会話力が必要になってくると考えられます。現在、英語が話せる社員は数人のため、英語力が備われば、より心強いですね。

何より若手の育成は欠かせません。現在、産機事業部の半数以上は20代。「『安全に』と『誠心』の精神を伝えながら、誰が手掛けても失敗しないよう、作業全体の標準化を進め、技術を継承しなくては、と感じています。

現場のスタッフに聞く! /

モノづくりへのこだわり

安全第一の世界なので常に改善提案を追求。

昨日まで良かったものが明日にはダメになる。現場はそういう世界です。10人のうち1人でも「それは危険だ」と判断したら、改善策をすぐに考えなければなりません。臨機応変な対応が求められています。

安全面にも考慮しながら仕事を進めるので大変ではありますが、何もないところから図面をひいたものが製品になったとき、やっと苦労が報われたと感じます。設計者冥利に尽きる瞬間ですね。お客さまの要望はどんな些細なものでも満足していただけのように徹底的に追求することを心掛けています。

手直しゼロを目指してお客さまの声を反映。

毎週月曜の午後は3時間以上かけて会議を開いています。今どんな問題が起きているかを共有し、どのように対策すべきかをみんなで話し合います。現場に立つことも大切ですが、この会議を欠かしてしまうと土台がぐずれてしまいます。

産機事業部は設計から引き渡しまで、すべて設計者が携わっているのが特徴です。目指すべきは、お客さまのご立会い時に、完成品の手直しがゼロであること。そこに行きつくには、やはり最初のうちにきちんとお客さまの声に耳を傾けることが大切だと日々実感しています。



産機事業部
搬送プラント設計グループ
シニアマネジャー

熊谷清美さん

平成15年に産機事業部に中途入社。コンベアなどの搬送設備の見積、設計が主業務。ピンチに直面しても冷静沈着で、どんな問題でも解決できることから部下から厚い信頼を寄せられています。会議で主張し合う場になっても、譲れないところはNOと言える、信念の強さを持っています。



産機事業部
機械装置設計グループ
シニアマネジャー

溝部昌彦さん

平成9年に産機事業部に入社。設計のエキスパートとして、クレーン・台車・その他製鉄所の機械装置設計と見積業務に従事。複数業務・案件をタフにこなし、部下育成も丁寧な指導でこなす温厚な人柄として評判です。

機械製品を 納品するまで

創業以来100年以上、製鉄所内で操業や整備の仕事に携わってきた濱田重工。
なかでも各種機械製品・サービスには定評があります。
産機事業部でどのようにして作られ、出荷されていくのでしょうか。



北九州市門司区を拠点とする産機事業部

製鉄機械

溶鋼鍋搬送台車
脱ガス槽耐火物補修設備
溶鋼鍋・タンディッシュ整備設備
水砕製造設備
その他製鉄機械



取鍋補修台車

メンテナンス サービス

製品を安定的に供給するのに重要な部分を担うメンテナンス。各専門のスペシャリストが定期点検をします。また、万全なサービス体制でトラブルにも対応します。

06

指導

お客さまに製品を効果的に使っていただけるよう、操業・運転・整備の指導も行います。指導員は熟練者を選抜し、速やかに派遣していることが自慢です。

05

機械製品を 納品するまで

01

企画・提案

長年培ってきた操業や整備の視点から、お客さまのニーズをさらに掘り下げて低コストかつ長年使っていただけるものを提案します。既存設備にも対応。

02

設計

各要素の専門技術者が、最適な強度や制御を考慮して具現化。安全面にも配慮した完成図の擦り合わせをこの工程できちんと徹底することが重要です。

03

製造

各工程のポイントごとに検査員によるチェックを行い、厳しい品質管理体制のもと、製品をお客さまに届けています。協力工場も同様の管理体制です。

据付

据付の精度の良し悪しが、設備の性能や寿命に大きく関わります。そのため、経験豊富な監督員を配置して、入念な計画のもと施工へ。試運転調整も欠かせません。

04

クレーン

クラブローリー式天井クレーン
ホイスト式天井クレーン
橋型クレーン
ジブクレーン
特殊クレーン
自動クレーン など
クレーン製造許可多数保有



天井クレーン

搬送設備

ベルトコンベア
パイプコンベア
垂直コンベア
貯槽機器
(サイロ・ホッパー) ベルトフィーダー



ベルトフィーダー

産業機械

シップローダ
各種搬送用台車
航空機整備用設備
廃棄物処理設備
資源回収設備
その他搬送機械



シップローダ

出荷

産機事業部は企画・提案から、納品後のメンテナンス・サービスまで、すべてを担当しています。誰もがお客様とダイレクトにお付き合いできる点こそが、ニーズを引き出しながらも省力化や安全の向上、低コスト化を実現できている最大の理由です。6つの工程の中でも設計は重要部分。このときに、いかにお客さまへの提案ができるかで製品の品質が決まります。

産機事業部は、提案活動表彰で全社1位を受賞した経験もあります。これは、品質を向上させるための意識がみんなに浸透している証拠。こうして完成した製品が無事に出荷され、お客さまの元に納入されます。



▲産機事業部の工場に隣接する岸壁からシップローダを出荷



▲スタッカを納入先で据付

大分製鐵所殿向け シップローダが完成！

濱田重工が手掛けた6台目のシップローダがついにお披露目。
試運転を何度も繰り返し、試行錯誤の末にようやくできあがりました。
製作に関わった3人のキーマンに今回のシップローダの特徴について聞きました。

シップローダとは、ベルトコンベアで搬送されてきた鉱石・石炭・石灰石・スラグといったバラ物を、岸壁から貨物船に積載する設備です。



産機事業部で仮組完成

工場内の試運転が終わり
仮組完成で
シップローダの原型に。



シップローダ

シップローダの
形が見えてきた。



ブーム

運転室

ポータル

ポータル・ブーム・運転室仮組

撮影日 平成28年10月1日撮影

製作品を
各小ブロック単位で仮組開始



ポータル

走行装置

走行装置・ポータル仮組

撮影日 平成28年9月13日撮影

「完成までの道のり」

仮組完成

担当者の皆さんに聞く!

シップローダの ここがスゴイ!

大型化とテレスコシュートは これまでにない試みでした。

過去の5台と比べると大きさが段違いです。また、今回はお客さまから「船の上に均一に荷を乗せられるようにしたい」という要望があったので、テレスコシュートの可動範囲を広げました。各担当者の知見に頼りながら、何度も試験を繰り返して、ようやく形になりました。



産機事業部・機械装置設計グループ
責任者

足立宏行さん

お客さまのニーズに寄り添い 唯一無二の動きをするものが完成!



産機事業部・システム制御設計グループ
テレスコシュート・電気関係担当

田村輝彦さん

テレスコシュートとは、伸縮する箱型のベルトコンベアの出口のようなもの。これまで4台のシップローダに関わってきましたが、当然ながらニーズが変われば仕様も変わります。「鼻」と言われるテレスコシュートの部分が、いかにふれるかを今回はとことん追究しています。

図面枚数が5倍以上! 400mのコンベアに挑戦。

ベトナムに何度も足を運んで付帯コンベアのチェックをしました。外部の方々にも協力を仰ぎながらの製作でした。今回、コンベアは400mと非常に長いのが特徴です。図面枚数は通常の5倍以上!こんな大型は、手掛けたことがなかったので大変でした。



産機事業部・機械装置設計グループ
ベルトコンベア担当

木宮巧智さん



大分製鉄所殿向けシップローダ製作に携わった皆さん。

1列目左から納富希望さん、宮原幸太さん、井村満さん、田村輝彦さん、足立宏行さん
2列目左から竹内亮太さん、木宮巧智さん、高原正樹さん、内田俊介さん、鳥田武さん
組写真右上より、樋口典行さん、脇野正輝さん、土居司さん



起重機船による出荷

撮影日 平成28年11月22日撮影

無事出荷が終わるまで
冷や汗ものです。



トリッパ・シップローダ

撮影日 平成28年11月15日撮影

見つけた!

Kirari 輝く人

VOL.23

笑顔と誠心で集める人望

アクティブでON・OFF充実

本社・経理グループ 増田優香さん (25歳)

プロフィール

平成26年4月に入社。経理グループに所属し、本社・大阪事業所の会計業務を担当している。明るく朗らかな笑顔で周囲を和ませる一方、入社時から少しでも早く仕事を覚えようと、攻めのスタンスで仕事を進める。問い合わせに対し誠心誠意答える姿にも、信頼が寄せられている。



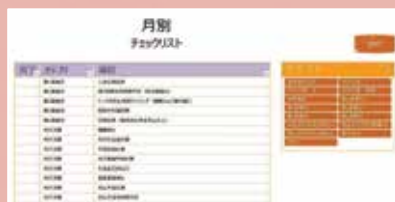
ON 数字を扱うため常に正確性を追求

私は本社・大阪事業所の月次決算・中間決算・年次決算に関する業務や、償却資産・事業所税など各申告書の作成を行っています。経理では、金額に誤りがあるてはいけないため、一つ一つ正確に処理することを心掛けます。書類の金額・日付・内容は、2～3回必ずチェックを重ねます。

また、仕事が納期に間に合うように、事前準備を欠かしません。「この仕事はいつまでに・このくらい時間が掛かる」という予定表を月ごとに作り、一目で自分のやるべきことが分かるようにしています。



経理の知識は幅広いので、業務を行うなかで覚えていきます。



Excelで作成した予定表で、月ごとの業務をチェック。

ON 利益計画見込みを作成できて達成感

昨年の4月から新たに大阪事業所も担当することになりましたが、6・7月に利益計画を作成する際、大阪事業所の方と話し合うなかで、行き詰まることも。何度も話し合いを重ね、最終的に相互が納得のいく計画を作成できたときは、大きな達成感がありました。

工事に関する知識も必要なため、ゆくゆくは建設業経理士の資格取得に挑戦したいです。



成長を感じるのは、他部門からの質問に一人で答えられるようになったことです。

元気の素

女子力アップ 20%

健康グッズ「PAO」と毎晩のフェイスパックで、美容に気を遣います。



旅行 40%

広島旅行を計画中。「揚げもみじ」と、広島風お好み焼きを食べたいです。

ライブ 40%

大学生の頃から、アイドルグループ「嵐」の大ファン。ライブ用のうちは、毎回手作りしています。

OFF 休日はいつもお出かけ

休日は、家でのんびりするよりも、外出することが多いです。旅行が好きで、ディズニーランドには年に2回行きます。友人とおそろいのTシャツを着るのが定番。



おすすめの旅行地は、島根県です(左側が増田さん)。

よく天神に買い物に行くこともあります。新しいお店ができていた時は、つい足を運んでしまいますね。可愛い洋服が好きで、お気に入りのブランドは「LODISPOTTO」です。

OFF 食べることも大好き

好物は焼き肉で、牛タンが一番好きです。同期会で焼き肉を食べに行くこともあり、会話と一緒においしいお酒とお肉を楽しむのは、至福の時。

チョコレートも大好きで、つい間食をしてしまうことが悩みです。仕事が忙しく、なかなか運動の機会がないので、太らないように気を付けます。



本社地区での同期会で、部門間の情報交換につなげています!

◆次号は君津支店・整備課のkirari輝く人をご紹介します。